

## 謹告

長年、生芸連運営委員として活躍くださった川崎是空(本名:一與四(かずよし))様が、去る7月4日の午前10時30分にご昇天されました。享年92歳でした。

ご親族のお話では、眠るようなやすらかな最期だったそうです。

川崎是空様は、京都で友禪の修行をした後、東京で独立され、人気染織家として活躍。その後、仕事仲間と一緒に、茨城県の水海道で「染色村」を開拓した後、佐賀錦というきらびやかな布地の切れ端を、コラージュのように張り合わせて1枚の絵とする独自の技法「あや絵」を創始。仏教や自然をテーマにした深い精神性に基づく作品が多く、しかも、作品を見る角度によって光の反射が変わり、さまざまな絵の表情が生まれるという味わい深い作品を数多く生み出されました。

生光展では、平成3(1991)年の第13回展で最優秀の「生光展賞」を受賞し、以後、運営委員として大変活躍されました。とりわけ、深く純粋な信仰心と、温かい人柄は、後進の鏡でありました。

川崎様の生前のご活躍に心から感謝し、生芸連活動のますますの発展をお誓い申し上げます。

生芸連事務局

小関隆史

合掌

2014年8月5日